

# 年 頭 所 感

明 け ま し て

お め で と う ご ざ い ま す

地質調査所長 陶山 淳治

昭和58年の年頭に当り 読者の皆様からの地質調査所の研究業務に対する常日頃の御理解・御協力に対して深く感謝致します。

すでに御承知のとおり 地質調査所は 昨年創立100周年を迎えました。 明治15年創立以来 当所は 地質及び地下資源に関する総合的調査研究機関として 一貫して その業務の遂行に務めて参りました。 この間の先輩各位の御苦勞・御努力に深く敬意を表するとともに 関係各位の変らぬ御支援・御便達に厚く感謝するものであります。

御承知のように 最近の我が国は 資源エネルギーの制約の下 財政再建 国際的な貿易摩擦の解消等 内外ともに 厳しい情勢に置かれております。

このような情勢の下で 資源エネルギー確保に対する脆弱性を克服しつつ 安定した経済成長を達成し 国民福祉の質的向上を図るとともに 経済大国としての国際的責務を果すための諸施策の実現が重要な課題となっております。 ところで これら諸課題の解決に対し 科学技術の果す役割の重要性が国内外を問わず強く叫ばれております。

そのため 近年 当所に対する社会的要請は増大するとともに多様化しており 従来の地質 鉱物資源に関する研究業務に加え 地熱資源の探査と評価 地震予知技術の開発 海域における地質の解明と鉱物資源の探査と評価 公害防止等に関する技術開発 国土の開発利用に伴う環境保全に関する地質学的評価等々の研究業務に対する比重が増しつつあります。

当所としては これら要請に積極的に対応しつつ効率的な研究業務の推進を図っていくため 昭和58年度には 次のような重点分野について一段の努力を重ねて参る所存であります。

## 1 我が国の国土及び周辺海域の地球科学的実態の解明

地下資源の探査 国土の開発・保全に重要な基礎資料



陶 山 淳 治 所 長

となる各種地質図の作成 (とくに国土の基本図としての5万分の1地質図幅・周辺海域の海底地質図・空中磁気図の作成等)

## 2 エネルギー・鉱物資源の探査と評価

新エネルギー資源としての地熱資源 および 深部鉱物資源のポテンシャル評価 エネルギー・鉱物資源の探査と評価のための最新のハードおよびソフトテクノロジーの導入と新手法の開発

## 3 国土の環境保全 自然災害の予知・防止

地震予知 火山噴火予知 公害防止等の技術の開発 地盤沈下 発電所立地等に関する地盤の評価技術の開発

## 4 国際研究協力・技術協力

国際研究協力・技術協力の一層の推進

また 将来の研究開発のシーズの育成 並びに研究開発の水準の向上を図るための目的基礎研究の充実に努めていく考えであります。

100年の歴史を経た当所は 昭和58年を新たな出発の年として 研究業務の一層の発展を図り 国民福祉の質的向上 国際的責務の分担等に貢献すべく 所員一同心を新たに今後共努力を続けてまいる所存であります。

本地質ニュースの読者の皆様の一層の御支援・御協力を御願い申し上げて 年頭の挨拶と致します。